

間質性肺炎合併肺癌のCT画像における間質性肺炎の定量評価と予後との相関性についての検討

研究者

(研究代表者) 放射線科医師 小野田秀子

(分担研究者) 放射線科医師 國弘佳枝、院長 松本常男、呼吸器外科医長 田尾裕之

研究の背景

間質性肺炎のCT画像は、患者さんの重症度の把握や予後予測、治療方針の決定に役立ちます。放射線科医師の肉眼によるCT画像の評価は、評価者間の差や再現性に差が出る可能性があります。コンピュータの自動解析による定量評価では、それらの問題が解決される可能性があります。現在、Gaussian Histogram Normalized Correlation segmentation (GHNC) システムという画像解析システムが開発されています。

研究の目的

間質性肺炎の定量評価において、放射線科医師による肉眼的な定量評価と GHNC システムによる定量評価との相関性を検討し、またそれぞれと間質性肺炎合併肺癌の予後との関連を検討します。

研究対象

2009年1月から2014年12月までの間に、間質性肺炎を合併した肺癌で外科的切除を施行された症例を対象とします。

方法

CT画像で間質性肺疾患の有無を調べ、間質性肺炎の定量評価において放射線科医師による肉眼的な評価と GHNC システムによる定量評価を各々行い、予後との相関を検討します。

個人情報保護に関する配慮

患者さん個人が特定されないように、本研究専用の研究用番号を割り振り匿名化し管理しますので、個人情報が院外に出る事はありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の情報を研究対象から除外しますので、いつでも下記の連絡先までご連絡下さい。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒755-0241 山口県宇部市東岐波 685

山口宇部医療センター 臨床研究部 臨床研究部長 三村雄輔

TEL : 0836-58-2300 / FAX : 0836-58-5219、E-mail: mimuray@yamaguchi-hosp.jp